

7. 北方移遊

北鮮の將兵は約六七、三〇〇名であつたが、之等將兵は、曠野の頗く古茂山（羅南會寧地区の約一〇三〇〇名）、興南・宣德・富坪（咸興地区の約五五〇〇〇）、三合里・秋乙（平壤其他西鮮の約二四〇〇〇）に集結した。

爾して、之等將兵の集結は、帰國準備のためのもつたのではなく、世説の懸念たる北方押留の前提であつて、その江り出しは、早くも九月早々開始され、九月末迄に約一三、〇〇〇（約一九多）が入「ソ」した。

盡なる状況は左の通りであつた。

部隊大隊編成地	人員	時期	移遊先
興南	約五〇〇〇名	九月上旬以後	アルチヤム
咸興	約二〇〇〇名	同上	スリヂヤン
三合里	約二〇〇〇名	同上	同上

高	直	巫	興
坪	徳	屋	屋
約一〇〇〇名	約三〇〇〇名	約一〇〇〇名	約一〇〇〇名
・	・	九月中下旬	九月上旬以降
イママン	スナホトヤン	ソウガワエ	ソウガワエ

十月に於ける人々は、九月に別荘を行われ、九月とじ、月末には、此方面の過半数の移送を終つた。その人員は、約二一〇〇〇名、前月累計約三五〇〇〇名（全数の約85%）である。

興	作	人	期	移
屋	業	員	日	送
約一〇〇〇名	大隊編成地	約三〇〇〇名	十月	暹羅
十月		十月	月	州
歐ソ				島

北緯に於ける北方季風は、本十月を以て一段落を告げ、翌期即二十一
 年六月一迄乙・・・・・五才大風九〇〇〇名一全期月一五度出・・・

精 製 糖	五 合 風	五 老 風	富 年
約二一〇〇名	約三〇〇〇名	約六〇〇〇名	約一〇〇〇名
十月下旬	十月上旬下旬	十月上旬	十月上旬
歐ソ(モスコー)	中央アジア(アルマ アタ、ロストフ カ、アングレン)	沿海州(スーチヤン、 アルチヨム、ウ ラデオ、ウオロ シロフ、テチユ ーハ)	沿海州(スーチヤン、 セモヨノフカ)

第六大隊（〇〇名）に才二次隊の移進が行われた。

第四ノ五

以上凡てを通じ、入ソの大隊数は、六十五大隊、（注、編成したのは七十二大隊であつたが、その中、七大隊は延吉に移動）、人員は約六三〇〇〇人であつた。

0114